

NEWS RELEASE

2016年2月6日

オーストリア造幣局

**オーストリア造幣局 資産用地金型プラチナコイン
「プラチナウィーンコイン ハーモニー」の製造・販売を発表
日本市場で 2016年4月1日（金） より販売開始**

オーストリア造幣局（局長：ゲルハルト・シュタールジツヒ、本部：オーストリア・ウィーン）は、2016年2月5日（金）よりドイツで開催されている「ワールドマネーフェア 2016」にて、資産用地金型プラチナコイン「プラチナウィーンコイン ハーモニー」の発行を発表しました。日本では、2016年4月1日（金）より、オーストリア造幣局が製造販売する「ウィーン金貨ハーモニー」の総代理店である田中貴金属工業（本社：千代田区丸の内、代表取締役社長執行役員：田苗 明）が販売を開始します。

オーストリア造幣局は、オーストリアを代表し世界に誇るウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に因み命名した資産用地金型金貨「ウィーン金貨ハーモニー」を1989年より製造販売を開始しました。現在までに2008年より販売製造を開始した銀貨と合わせて1億枚を超える販売量を誇っています。そしてこの度これまでのラインナップにプラチナコイン「プラチナウィーンコイン ハーモニー」が加わります。

■初回製造量の7割のプラチナコインを日本で販売予定

オーストリア造幣局は、「プラチナウィーンコイン ハーモニー」1オンスの初回製造量を合計5000枚としており、その内の7割となる3500枚を日本、1500枚をその他の市場にて販売を予定し、世界でも日本を中心とした販売を計画しています。

オーストリア造幣局局長ゲルハルト・シュタールジツヒは販売開始にあたり、「私たちのコインは、何世紀にも及ぶ伝統と職人技を収集家や投資家から評価されてきました。プラチナコインを発行することはオーストリア造幣局にとって自然な流れであり、初のプラチナコインが既に世界的に知られる様になったウィーン金貨のデザインが踏襲されたことを特に誇りに感じています。」とコメント。

また、田中貴金属工業 代表取締役社長執行役員 田苗 明は「資産用プラチナ地金は2015年に当社過去最高の販売量を記録しました。今回のオーストリア造幣局発行プラチナコインを新たに導入することにより、さらに資産用ビジネスの裾野が広がると期待しています。」と販売開始へ意欲を高めています。

<オーストリア造幣局とは>

オーストリア造幣局は、1194年の誕生以来、800余年にわたり様々なコインの鑄造を行ってきました。その品質と鑄造技術は世界中から高い評価を得ています。1989年、財務省傘下から、オーストリア中央銀行の子会社となったオーストリア造幣局は、同年、ヨーロッパで初めての純金地金型金貨「ウィーン金貨ハーモニー」を発行、日本市場への販売を開始しました。また、1994年には開局800周年を迎え、2004年の「ウィーン金貨ハーモニー」発売15周年には、世界最大級の金貨である「ウィーン金貨ハーモニー1000オンス」を、2008年には「ウィーン・フィル銀貨」も発行しました。また2009年の「ウィーン金貨ハーモニー」発売20周年では、「ウィーン金貨ハーモニー20オンス」を発行。2014年には発売25周年記念として「ウィーン金貨ハーモニー1/25オンス」を発行しました。

<田中貴金属工業とは>

田中貴金属工業株式会社は、1885年の創業以来、1世紀以上にわたり、金や銀を始めプラチナ族金属などの貴金属の回収・精製並びにその分析に携わるとともに、それらを用いたさまざまな産業用素材や製品の製造・販売をはじめその特性を生かした資産としての貴金属地金商品の売買を行っています。日本で金の輸出入自由化が施行された1978年には、金の精製・分析技術が高く評価され、日本で初めてロンドン金市場（現ロンドン地金市場協会）の公認溶解業者の認定を受け、ロンドンのもとより世界の主要市場で通用する金地金を製造する資格を得ました。また、2003年12月には、ロンドン市場で取引される金及び銀の品質を審査する、世界で5社しか認定されない「公認審査会社」の1社に任命されています。グループ会社の田中貴金属ジュエリーが運営するGINZA TANAKAの各店舗（7店舗）をはじめ、全国に広がる105店舗余りの特約店で金地金や地金型金貨等の売買を行っています。

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

■オーストリア造幣局 駐日事務所 北野

TEL : 03-5640-1578 <http://www.austrianmint-jp.com>

■共同PR株式会社 担当：安田、後藤、田中、伊原、川島、高井

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316